



牧野記念庭園に春の訪れを告げる

オオカンザクラとカンヒザクラがまもなく見頃！

と き 【見頃】3月18日～25日ごろ 午前9時～午後5時 火曜休園

と ころ 牧野記念庭園（東大泉6-34-4庭園内） 入園無料
交通案内：西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 徒歩5分

世界的な植物学者で、練馬区に居を構え「日本の植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎博士の住居跡を整備した区立牧野記念庭園で、オオカンザクラとカンヒザクラがまもなく見頃を迎える。

オオカンザクラとカンヒザクラは庭園にある桜のうち最も開花が早く、庭園に春の訪れを告げる花である。丸く淡紅色の花を咲かせるオオカンザクラは庭園入口にあり、訪れる人々を出迎える。

また、濃い紅紫色の花が特徴のカンヒザクラは、一昨年に倒木した同樹木の後継樹として、練馬区内の樹木育成場から移植されたもの。開園時から続く美しい花を再び楽しむことができる。

現在、オオカンザクラは6分咲き、カンヒザクラはまもなく開花する見込みで、18日から25日にかけて最も見頃となる。今後、牧野記念庭園ではソメイヨシノやミシマザクラのほか、牧野博士が命名したセンダイヤ（サクラ）やヤマザクラ、マナヅルザクラ、ウスガサネオオシマなどの桜が次々と見頃を迎える。



オオカンザクラ（3月12日撮影）



オオカンザクラ（3月12日撮影）

【企画展「ツバキとサザンカ 石井勇義と牧野富太郎の友情」後期の展示について】

3月14日（土）から牧野記念庭園記念館で企画展「ツバキとサザンカ 石井勇義と牧野富太郎の友情」の後期展示が始まる。

石井勇義は、牧野博士と親交の深かった園芸家である。昭和8年頃、当時関心の低かった江戸時代の園芸植物に目を向けた石井は、ツバキ・サザンカの図譜出版を企画し、牧野博士が最も信頼していた画工・山田壽雄に図の制作を依頼した。図譜は出版されることなく石井は亡くなったが、図を収めた帙（ちつ・書物を包む覆い）には、牧野博士が「日本産ツバキの図」と書いた表題が貼られている。

本展では、前期と後期に分けて山田が描いた彩色のツバキ・サザンカの図を展示している。

【会期】3月14日（土）～3月29日（日） 午前9時30分～午後4時30分
（火曜休館、入場無料） 前期日程は終了しました。



【問い合わせ】環境部 みどり推進課 花とみどりの相談所 電話03-3976-9402